

CD20陽性 再発性・難治性 非ホジキンリンパ腫  
R-GCD (リツキサン+ジェムザール+カルボプラチン+デカドロン) 療法 患者プロトコール

投与プロトコール 1コース3週間 4回 《開始時基準 PS:0~2 年齢:制限なし》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	維持液	—	—	—	(注) *カルボプラチン投与量はAUC(3)で算出する 場合が多く、患者の状態に応じて主治医が 減量を考慮する。
プレメディ	抗ヒスタミン剤+アセトアミノフェン	—	Day8	30分前	
①	リツキサン:375mg/m <sup>2</sup> 生食または5%ブドウ糖で1mg/mL以下の濃度に調製	mg	Day8	添付文書参照	
プレメディ	5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗薬+生食100mL	—	Day1,8	30分	
②	デカドロン:33mg/body 生食 50mL	mg	Day1,2,3,4	15分	
③	ジェムザール:1000mg/m <sup>2</sup> 5%ブドウ糖 100mL	mg	Day1,8	30分	
④	カルボプラチン:AUC(5)* 5%ブドウ糖 250mL	mg	Day1	1時間	
◆カルボプラチン投与量 = AUC(5) × (Ccr+25) Ccr算出:Jelliffeの式 ◆リツキサンは1mg/mL以下の濃度で投与を行う。また投与24時間以内に現れやすいInfusion reaction□ (発熱、悪寒、頭痛等)を軽減させるため、投与の30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤の投与が必要。					

佐賀大学医学部附属病院